

あなたも育児休業を取りませんか？

育児は育自！

「今しかできないことだから。」

1. 妻が専業主婦の場合や、育児休業中でも
夫は育児休業を取得できます。

2. 育児休業およびそれに準ずる休業により
無給になった場合でも、
育児休業給付などの所得補償や、社会保険料の
免除などの**経済的支援**があります。

3. 日頃から職場内で情報共有や作業の効率化を図り
スムーズに**業務の受け渡し**が
できるように心がけましょう。

※制度に関する詳しい内容は
各事業主、人事労務担当者へご相談下さい。



育児休業をとった感想（長崎大学職員と家族の声）



4児のパパ
2週間取得

育児は夫婦両方で関わっていこうと決めていました。一時期初心を忘れかけた頃もありましたが、育児休業を機に、また原点に立ち返り、心を入れ替えることができました。職場も非常に理解があって、「頑張ってください」と激励してくれる女性の同僚もいました。もし育児休業を希望する人がいれば、全力で協力してあげたいと思っています。



2児のパパ
3週間取得

妻の両親が高齢だったこと、上の子を保育園に継続して通わせてあげたかったこと、育児の大変さを体感してみたかったことが動機で取得しました。職場は「今しかできないことだから」と後押ししてくれました。普段から業務の情報共有を図っており、引き継ぎもスムーズでした。育児経験を通じ、「優先順位をつけて行動する」「急な状況変化にも慌てない」「相手の気持ちを考える」という点が鍛えられました。



同僚の声

子育ての経験は、キャリア形成にもつながると思います。夫婦で家事や育児を頑張っている様子を見ると、家族の団結を感じますね。子どもの行事などで仕事を休むのは、我々の職場では普通になりました。同僚の育休取得で仕事の負担は一時的に増えましたが、普段から夏休みなどで交代に休んでいることもあり、それほど大きな負担にはならなかったと思います。



3児のパパ
1年間取得

育児休業は、約10年前に取得しました。夫婦共働きであったため、自分にとっても良い経験になると思ったからです。当時は妻には喜ばれましたが、職場からは驚かれたり、笑われたりしました。担当の業務については引き継ぎ書を作成し、調整は上司にお願いしました。実際に休業してみると、育児の大変さがよく理解でき、ほかの男性にも育休等の取得の機会があればと思います。



ママの声

夫が育児休業を取得してくれたおかげで、上の子どもたちのお世話を安心して任せることができ、入院中も心配なく過ごせました。退院後も、育児や家事を手伝ってもらい、無理なく産後の回復ができました。職場の皆様にも協力していただき、感謝しています。これからもお互い体に気をつけて、2人で子育てしていきたいと思っています。

お役立ちBOOK！

仕事と育児の両立に役立つハンドブックを用意しています。

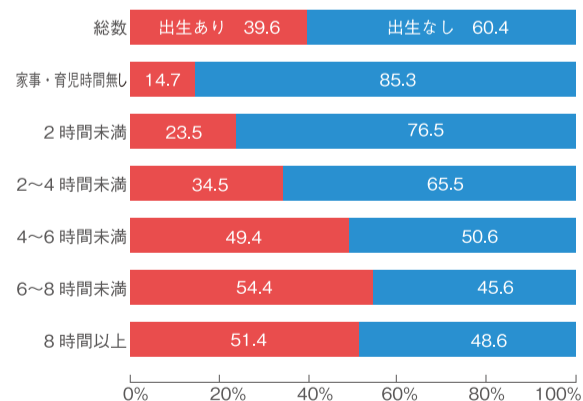
詳しくは、

長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター

TEL.095-819-7979 又は info01@nagasaki-ajisai.jp までお問合せください。

日本男性の育児の実態

子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみた
この6年間の第2子以降の出生の状況



出典：厚生労働省「第7回21世紀成年者縦断調査」（2009）

夫の家事・育児時間が長いほど、
第2子以降の出生割合が高い!!

